



広島で考えたこと

神林中学校
おの みはる
小野 緑日さん

8月6日は80年前のあの日と同じように澄んだ青空が広がっていて、広島平和記念式典の会場は祈りの空気に包まれていました。私は、式典での祈りの言葉を聞いているとき、前日に見た平和記念資料館での数々の資料が頭に浮かんでいました。

私は広島での平和学習を通して、今、そしてこれから生きる私たちにとって、とても大切なことを学ぶことができました。毎年、8月6日午前8時15分。日本中が平和を願い、被爆者を思う1分間。その1分間を一人一人が広島へ向けて思いをはせる時間にするのが、今の私たちができることだと私は考えます。この静かな祈りが世界中に広がることを願っています。



広島で学んだこと

村上東中学校
やまだ けんと
山田 健斗さん

僕は、この3日間広島に行き学んだことが2つあります。1つ目は、核兵器の恐怖です。広島平和記念資料館では、見つかった服や当時の写真など、見るにも耐えられないものがたくさんありました。核兵器は、町を一瞬にして地獄に変えてしまう恐ろしいものだと学ぶことができました。

2つ目は、平和の尊さです。80年前のあの悲劇をもう二度と繰り返さない、戦争のない平和な世界にするために自分ができることがないか考えることができました。この出来事は、80年前に実際に起きたことです。この事実真剣に向き合い、平和な世界を実現するために、どうしていけばいいのか考えていきたいです。



悲劇を繰り返さないために

村上第一中学校
とがし うた
富樫 歌さん

戦後80年という節目の年に8月6日の広島という特別な地で、一生できない経験をさせていただきました。平和記念式典の中で私が印象に残っているのは、子ども代表による平和への誓いです。「子どもである私たちも平和のために行動することができる」などの言葉が心に残りました。

世界各地で戦争が起こっている今、被爆国である日本だからこそ発信できるメッセージがあると思います。広島で経験したことは、私にとって一生の財産になりました。1発の原爆によって奪われた日常があることを忘れず、私たちが大人になったとき、戦争がない平和な社会が実現できるよう、この経験を将来に生かしていきたいと思います。



広島で学んだこと、感じたこと

山北中学校
かとう たいせい
加藤 大成さん

私が広島に行き学んだこと、感じたこと、考えが変わったことが2つあります。1つ目は広島平和記念資料館で学んだことです。一瞬にして当たり前日常が奪われたことを、たくさんの人に伝え、たくさんの人と考え、平和に向けて戦争について考えていきたいと思っています。

2つ目は広島平和記念式典に参加したことです。子ども代表の「平和への誓い」で小学6年生が発表した「いつかはおとずれる、被爆者のいない世界」という言葉が強く印象に残っています。これまでは被爆者の方々から伝えてもらっていた原爆について、これからは私たちが伝えていかなければならないと思いました。



広島での体験を通して

朝日中学校
おだ ぎんじょう
小田 銀丈さん

私がとても心に残ったことは、広島平和記念資料館です。今まで私は「悲しい」「可哀想」といった簡単な言葉でしか、戦争について理解していませんでした。資料館を見学している間に胸がとても苦しく、その場から早く出たくなりました。言葉では、はっきりとは表せない気持ちになり、自分の言葉だけで表現してはいけなかったと思います。

この体験を家族に話をしました。自分でも驚くほど言葉が出てきました。家族も戦争や平和について考える機会になったと話していました。だから身近な人に伝え、平和について話をしてみたいと思います。毎年8月6日の広島平和記念式典はより平和について考える日になると思います。



広島を見て感じたこと

荒川中学校
さとう じょう
佐藤 晟さん

広島平和記念資料館の壁には、原爆が投下されてすぐの様子が写真や文字で記されていました。その中に「20分ほどためらい、やっとの思いで、1枚目のシャッターを切った」と書いてあり、あまりの惨劇にシャッターを切るにも切れず、ためらっていたことが分かりました。私も教科書やテレビなどで広島原爆投下後の状況は知っていたつもりでしたが、理解の浅さを痛感しました。

「広島に行けば考え方が変わる」などという言葉は何度か聞いたことがありました。その意味が今まではよく分かりませんでしたが、今回の広島派遣で、かつての広島を知ることで、人の思いが繋がっていくことが分かりました。



世界の平和を祈って

岩船中学校
こじま りお
小嶋 莉央さん

私がこの派遣事業の中で記憶に残っているのは、原爆ドーム、広島平和記念資料館です。原爆ドームを見たとき、この場所だけ時間が止まっているように思え、今までにもったことのない感情が出てきました。広島平和記念資料館を見たときには、被爆者の気持ちはもちろん、親族の方などいろいろな人の気持ちが頭に浮かんでいました。

残念ながら今の世界は、まだ戦争をしている国があり、世界には「幸せ」「この世界は平和」と自信を持って言えない人がたくさんいるはずで。戦争もなく、核兵器のない世界はどれだけ幸せで平和か、ニュースを見るたびに私は思っています。一刻も早く戦争のない世界が来ることを私は強く願っています。

